



すずの音

SUZU NONE

札幌鈴木病院
SAPPORO SUZUKI HOSPITAL

札幌鈴木病院広報誌

Medical Information

発行日 / 平成25年7月 ●発行 / 医療法人社団 研成会 札幌鈴木病院 ●編集 / 広報委員会



今後の医療経済と さらなる当院の 診療内容の充実に向けて

医療法人 研成会 札幌鈴木病院
院長
医学博士 篠原 かほる

「アベノミクス」で円安傾向となり一定の評価はされつつありますが、国内経済の先行きは未だ不透明です。消費税は2014年4月から引き上げ予定、電気料金の引き上げ、日本のTPP参加と精神科医療を取り巻く経済状況はさらに厳しさが増す事が予想されます。とりわけ、今後のTPP参加により規制緩和が推進されれば、日本の誇る「国民皆医療」という医療の平等性は崩壊し、特に低所得者は自己負担金の発生で、適切な医療を受ける機会を失うという、可能性が強く懸念されております。

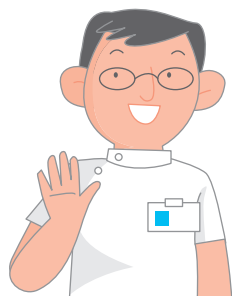
当院では今年度、「入院医療中心から地域生活中心へ」の改革ビジョンに従い、外来部門では「うつ・感情障害を中心とした外来診療の重点化」と「認知行動療法専門外来」の開設。予約制のさらなる導入による待ち時間の短縮。「神経内科専門外来」の開設。精神科デイケアのさらなる充実（「疾患別教育プログラム」、「就労支援プログラム」）と

在宅での生活を患者さんに出来るだけ長く過ごして頂く為の「シニア向けデイケア」（送迎付き）の開設。訪問看護による、個別の症状に応じたきめ細かいケアの導入。統合失調症を主とした外来治療中断に対する看護支援体制強化と在宅支援体制の強化。入院部門では、急性期治療病棟を中心にクリニカルパスを利用した短期間での急性期入院治療の充実。「うつ・ストレスケア病棟」充実。疾病教育（心理教育）の強化。亜急性期・慢性期病棟での地域移行への促進を目標として掲げています。多職種でのチーム医療により上記目標到達に向けて協力してゆきたいと考えております。

当院の理念である「心身ともに健康に…」が、5疾病5事業として新たに追加されたメンタルヘルスのさらなる浸透と正しい理解によって、より身近で親しみやすいものとなってゆく事を心から期待したいと思います。



ドクター紹介



医療法人社団 研成会 札幌鈴木病院

おかもと なが ひさ
岡本 長久

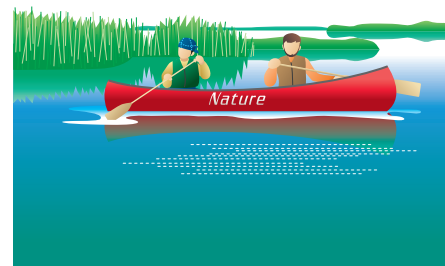
精神保健指定医
精神保健判定医
精神科指導医・認定医
臨床研修指導医
医学博士

出身学校と卒業年次: 東京医科歯科大学医学部医学科 1998年卒

専門科目: 臨床精神医学、気分障害(うつ病、躁うつ病)、ストレス精神医学、器質性精神疾患、精神科薬物療法、認知行動療法

一言: はじめまして。東京都多摩老人医療センター、客船船医等を経て、平成23年6月まで国立精神神経センター病院に精神科医長、うつストレスケア病棟・うつ病専門外来の責任者として勤務しておりました。以前の病院では主に難治性気分障害の薬物・生物学的治療、認知行動

療法、精神科臨床教育、臨床研究、監査、治験、精神鑑定などに従事し多忙な日々を送っていましたが、釣り・温泉・カヌーが好きで北海道での暮らしに憧れ、平成23年6月に当院に勤務させていただいております。新参者ですが今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



地域に向けて



納涼夏祭り

前年度8月に当院裏庭にて納涼夏祭りを行ないました。前回の夏祭りは「地域の方々との共生」をテーマに、皆様にもご自由に参加して頂けるような形での開催となりました。当日は天気にも恵まれた中で、フランクフルトやアイス等の飲食販売や輪投げの縁日を行い、皆様のご協力もあり大盛況となりました。



バザー

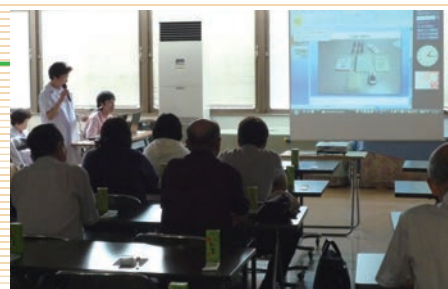
前年度10月に5階ダイケア室・作業療法室にて第15回バザーが行われました。バザーでは、古着のリサイクル、カレンダーや革細工などの人気商品に加え、チョコプリンやアイスを販売するなど新しい試みも行われ、大盛況で終了となりました。喫茶オアシスも焼きそばとダイケアメンバーが新しい趣向をこらし、例年以上に外来、御家族、周辺のお客様に好評でした。



禁煙・糖尿病教室

現在、透析患者の原因疾患の多くは糖尿病であり、当院では、糖尿病指導の経験豊富な医師、療養指導士、管理栄養士が連携し、腎症から透析への移行、合併症予防に取り組んでいます。

また、糖尿病教室では、災害時に備えての管理など毎年6回のシリーズを組み、講師と参加者が直接意見交換ができる場を提供しています。



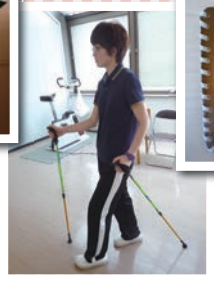
治療の流れ ～チームでサポート～

入院

急性期治療病棟を中心にクリニカルパスを用いた短期間で充実した治療を行っています。

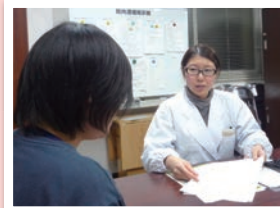
作業療法

作業療法プログラムでは各病棟、レクリエーション、趣味活動等幅広い活動を行なっています。5階作業療法室では籐細工や革細工等の手工芸や、エアロバイクや太極拳等の軽運動に加えて、心身の休息・リラクゼーションを目的に「**アロマヨガ**」も行なっています。また身体面のリハビリテーションとして「**ノルディックウォーキング**」も導入しています。



栄養指導

食事は生活や心身のリズムを整える上でも重要です。管理栄養士が病状や生活スタイルに合った食事内容や摂り方を個別にアドバイス致します。



医療相談室

入院中、退院後において入院退院費の福祉制度等様々な相談に対応し、皆様のより良い生活を支援します。



プログラム紹介「ふまねっと」

「**ふまねっと**」は北海道教育大学釧路校の北澤一利教授が認知・身体機能の改善を目標として開発・考案されたプログラムで、床に敷いた横3マス、縦8マスの大きなネットを踏まないようにして歩くというものです。様々なステップがあり、足と手を組み合わせてするものもあります。インストラクター資格を取得したスタッフが中心に病棟、デイケアで積極的に実施しています。



訪問看護

正看護師と精神保健福祉士2名のスタッフがご自宅に訪問して退院後の日常生活の困りごとの相談、服薬管理、病気や様々な不安を和らげるお手伝いをします。充実した地域生活を送るためにぜひご利用ください。



デイケア

スポーツやゲーム、SST、モザイクアートなど幅広くプログラムを実施しており、最近では病気について学ぶ「**ゴリラとマナブ**」、**「うつころびやおき」**、メタボリックシンドローム対策として食事・運動についての勉強会「**ボパイの会**」なども新しく導入して、患者さんが心身共に健康でいられるよう、外来通院を含め力強くサポートしています。



外 来
アウトリーチの充実

病院機能評価認定

札幌鈴木病院は、第三者評価として財団法人日本医療機能評価機構による病院機能評価Ver.5.0に、平成21年11月6日付けで認定されました。この病院機能評価は、医療機関の機能を中立的な立場で評価を行う第三者機関として設



立された財団法人日本医療機能評価機構が審査を行い、機構の定める認定基準に達成した病院に対して認定証が発行されるものです。

審査は「書面審査」、「訪問審査」が行われ、以下8つの領域について評価されます。

- ① 病院組織の運営と地域における役割
- ② 患者の権利と安全の確保の体制
- ③ 療養環境と患者サービス
- ④ 医療提供の組織と運営
- ⑤ 医療の質と安全のためのケアプロセス
- ⑥ 病院運営管理の合理性
- ⑦ 精神科に特有な病院機能
- ⑧ 療養病床に特有な病院機能



本院では、今後も常に思いやりの気持ちを持ち、患者さんやその御家族との信頼関係を大切にして、地域に必要なとされる質の高い医療を提供していきます。



診療時間のご案内

受付時間

月～金曜日 9:00～11:00/13:00～16:00
(内科・小児科 8:30～11:45/13:00～16:00)
(神経内科 月・火・金曜日 13:00～16:00)
土曜日 9:00～11:00 (内科・小児科・神経内科 休診)

診察時間

月～金曜日 9:30～12:30/13:30～17:00
(内科・小児科 9:00～12:00/13:30～16:30)
(神経内科 月・火・金曜日 13:30～17:00)
土曜日 9:30～12:30 (内科・小児科・神経内科 休診)

※休診 日曜日・祝祭日

心療内科、神経科・精神科外来

	月	火	水	木	金	土
午前(1診)9:30～12:30	櫻間	鈴木(隆)	篠原	岡本	篠原	鈴木(隆)
午前(2診)9:30～12:30		丹羽	岡本	丹羽	櫻間	渡辺
午後 13:30～17:00 (予約外来)	篠原	岡本	櫻間	鈴木(隆)	丹羽	

※患者さんの状態により、予約時間にズレが生じる可能性があります。予めご了承下さい。

内科外来

	月	火	水	木	金	土
午前(1診)9:30～11:45	小野	鈴木(素)	鈴木(素)	小野	鈴木(素)	
午前(2診)9:30～11:45		小野	萩原			
午後 13:30～16:30	小野 鈴木(素)	鈴木(素)	清水	小野	鈴木(素)	

神経内科外来

	月	火	水	木	金	土
午後 13:30～17:00 (予約外来)	北川	北川			北川	



医療法人社団 研成会 札幌鈴木病院



〒001-0903 札幌市北区新琴似3条1丁目1-27 (2番通り入り口)

TEL (011) 709-5511 (心療内科、神経科・精神科)

TEL (011) 757-5050 (内科、胃腸科、小児科、神経内科)

診療科目

心療内科、神経科・精神科、内科
胃腸科、小児科、神経内科



当院へのアクセス

- JR北海道バス(北46) 新琴似線
3条1丁目バス停前
(麻生駅前～琴似駅前行)
《麻生駅から約6分乗車》
- JR北海道バス(琴46) 乗車で
琴似まで約15分
- 地下鉄南北線麻生駅(8番出口)
《徒歩約12分》
- 地下鉄南北線北34条駅(1番出口)
《徒歩約13分》



●ご意見・ご要望などございましたら札幌鈴木病院広報委員会までお気軽にお寄せ下さい。 札幌鈴木病院広報委員会[担当] 安藤 真行 FAX (011) 709-5512